青森県立中央病院での主な業務について

1. 調剤業務

外来調剤と入院調剤があります。処方箋鑑査、疑義照会、計数調剤(一包化調剤)、散剤の計量調剤、分包、最終鑑査、薬の交付、患者さんに情報提供、相談応需。薬局では扱わない治療薬もあります。様々な薬剤や、最新の治療薬に携わりたいと考える方におすすめです。

2. 製剤業務

市販されていない薬を薬剤師が病院内で調製します。薬物治療ニーズに応じ、患者さんに合わせて薬を調製しています。

3. 注射調剤業務

薬剤師が処方せんを基に入院患者さんが使用する注射薬を1回分ずつ調剤しています。

4. 抗がん剤調製業務

抗がん剤注射薬を点滴の中に無菌的に混ぜます。抗がん剤は、皮膚などに触れないようにしながら調製します。安全性を考え、薬の専門家である薬剤師が抗がん剤の混合調製をおこなうことが多くなっており、調製者が抗がん剤に曝露するのを防いでいます。

5. 外来化学療法

がんの治療は、外来での治療が進んでいます。外来で抗がん剤を点滴する外来化学療法室には、多くの施設で薬剤師が活躍しています。レジメン(抗がん剤治療の計画書)チェック、抗がん剤の調製、抗がん剤治療の説明や副作用の確認、医師への処方提案などを行い、患者さんが安全で安心して治療ができるように関わっています。

6. 医薬品情報業務

DI室(Drug Information)とも呼ばれ、医薬品に関する情報を取り扱う部署です。医薬品を適正に安全に使用するためには、投与方法、投与量、副作用、相互作用などの様々な情報を収集します。そして医師、薬剤師、看護師などの医療従事者や、患者さんへ情報提供しています。

7. 治験業務

新薬開発の過程では、有効性と安全性の最終チェックとして治験が実施されます。当院の治験管理室において、薬剤師は治験薬の管理の他、治験審査委員会の運営や治験依頼者(製薬メーカー)との対応等の業務を行っています。

8. チーム医療

チーム医療は、医師や看護師だけでなく、事務職員なども含んだ多職種で構成されており、様々な専門家の意見を取り入れて治療に生かしていくのです。チーム医療のジャンルによっては、薬について質問されることも多く、薬剤師としての職能を生かせる場でもあります。各医療スタッフは医師と対等な立場で意見を述べ、患者さんにとって最も効果的な治療法や方針が検討されます。

9. 病棟薬剤業務

病棟業務では、カルテや検査データを参照し、薬物治療の効果や副作用の発現を確認してます。改善が必要な場合は、医師に処方提案を行うこともあります。

10. 薬剤管理指導業務

入院中の患者さんに対して服薬指導を行います。最近は効果の高い薬剤が登場する反面、投与方法の複雑さもあり副作用もこれまで以上に注意が必要になりました。使用する薬剤について説明し、既往歴、副作用の発現、服薬状況を確認し、医師や看護師などの他職種と情報を共有します。さらには退院に向けて、薬の自己管理指導や生活指導を行うこともあります。

11. その他

疑義照会とプレアボイド、認定薬剤師、災害医療、医薬品の管理、TDM(薬物治療モニタリング)、医療安全管理 " など

採用までのプロセス

募集案内入手 → 受験申込み → 第1次試験※1(専門試験) → 第1次試験合格発表 → 第2次試験※1(論文試験・個別面接) → 最終合格発表 → 配置先通知※2 → 採用※3 採用時期は令和5年4月1日以降

※1 合格者全員に書面で通知するほか、合格者の受験番号をホームページに掲示します。
※2 県知事部局(県内保健所等)に配置される場合があります。
※3 受験資格に定める資格・免許を取得できなかった場合は採用されません。

共同採用試験の詳細については、4月頃に青森県立中央病院HPに掲載予定です。

勤務条件(福利厚生)

✚勤務時間と週休日

日勤 8：15～16：45(休憩45分)

夜勤 16：15～8：45(休憩60分)

週休日 4週8休

✚給与(支給例)

新卒者給与月額(基本給)	
大学生	210,500 円
勤続5年(年収)	460万円※
勤続10年(年収)	550万円※

※ 各種手当を含みます。

JOIN US !
青森県立中央病院リクルートサイト

業務内容、勤務条件など、詳しくはwebをご覧ください。

募集内容・試験日程

青森県立中央病院

〒030-8553 青森県青森市東造道２丁目１-１
TEL 017-726-8111 FAX 017-726-8325
病床数 684床
職員数 1,556人(令和４年２月現在)
１日平均外来患者数 1,153人(令和２年度実績)
１日平均入院患者数 503人(令和２年度実績)

青森県立中央病院

リクルートブック

薬剤師

Join Us 2022

Aomori Prefectural Central Hospital

県病公式 Instagram

青森県病院局

先輩からのメッセージ

教育・研修体制について

がん、糖尿病、HIV、栄養、緩和など様々な認定・専門資格を有する薬剤師が多数在籍しているため、自分の興味のある分野や取得したい資格に関しても勉強できる環境になっています。

今後の目標は？

当院は三次救急病院のため、救命救急センターや災害医療チームで活躍する薬剤師について勉強したいと思っています。薬剤師を主役とした漫画で救急現場で働く薬剤師について知ったのがきっかけです。現状に満足せずに様々な分野の知識を吸収できるように、日々自己研鑽に励んでいきたいです。

青森県立中央病院への就職を考えている方へメッセージ

病院の薬剤師はより臨床現場に近い環境で働くことができ、様々な知識や技術を身につけることができます。業務は多岐にわたり大変な部分もありますが、薬剤師同士や多職種と連携して仕事ができ、とてもやりがいのある仕事です。是非、たくさんの方に応募していただきたいと思っています。

青森県立中央病院を選んだ理由を教えてください。

大学の実習で他職種との連携や患者さんへの薬剤指導などを経験し、病院薬剤師は薬剤師本来の多岐にわたる役割を担うことができるとてもやりがいのある仕事だと感じて希望しました。

青森県立中央病院にはどのような業務があるのでしょうか？

通常の調剤業務の他、無菌室での抗がん剤無菌調製業務や注射処方せんの管理業務、病棟業務としては内服・注射の投与量確認やレジメンチェックなどに加えて、実際に患者さんの元での服薬指導を行う業務もあります。

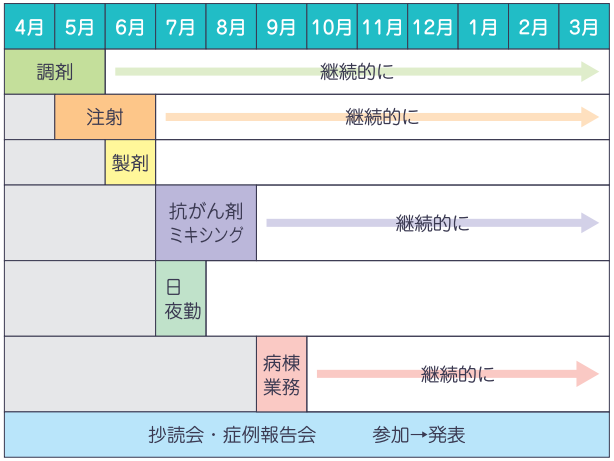
実際、青森県立中央病院で勤務してみた感想はどうでしょう。

当院は県の基幹病院なので、様々な診療科に携わることができ、幅広い知識が身につきます。まだまだ覚える事も多く勉強の日々ですが、チーム医療を担う一員として仕事ができることにとてもやりがいを感じています。

とある１日のスケジュール

正規勤務時間（８：15～16：45）

- 08：15 調剤業務（内服・注射処方せん）
- 09：00 担当病棟で病棟業務（カルテ・処方内容確認、投与量計算、服薬指導、持参薬鑑別など）
- 12：15 昼休み
- 13：00 担当病棟で病棟業務（カルテ・処方内容確認、投与量計算、服薬指導、持参薬鑑別など）
- 16：30 病棟カンファレンス参加
- 16：45 業務終了

新採用職員への研修体制について

基本的な外来調剤・入院調剤業務を中心に、OJTを行います。
がん、糖尿病、HIV、栄養、緩和など各分野の認定・専門資格を有する薬剤師が指導いたします。
夜勤業務は入職後およそ３か月後に始まります。